

**憲法しんぶん 速報版**  
発行 憲法改憲阻止各界連絡会議（憲法会議）  
Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007  
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2023年10月26日(木)  
NO. 1421号  
本号3頁

## **立憲と共産 次期衆院選で連携する方針で合意**

立憲民主党の泉健太代表と日本共産党の志位和夫委員長は23日に国会内で会談し、次期衆院選で連携する方針で合意しました。

会談で泉氏は今国会での協力を呼びかけるとともに、22日に投開票され、無所属の広田一氏が勝利した参院徳島・高知選挙区補選での協力に謝意を述べました。その上で、「次の総選挙で与党の議席を最小化するために、連携と力合わせをしていきたい」と表明しました。

志位氏は「国会での協力は当然進めていきたい」と述べ、補選の結果について「岸田政権に対する痛打であり、市民と野党の共闘の大事な勝利だ」と表明。泉氏から総選挙での「連携と力合わせ」が要請されたことについて「立憲民主党から、何らかの形で連携、協力の意思が明示されれば、前に進むことができると話してきた。泉代表の表明をうれしく思う」と応じました。

その上で志位氏は、岸田政権が敵基地攻撃能力保有と大軍拡の暴走、物価高騰のもとでの無為無策、憲法9条改定に危険な前のめりの姿勢を示しているとして、「この政権を倒すためには、市民と野党の共闘、連携と力合わせをしていくことが非常に大事になってくる」と指摘。「きょう第一歩の合意ができた」と述べ「政策的にも平和、暮らしの問題など太いところで大義の旗印を示せるよう、市民連合のみなさんとも協力しながら進めていきたい」と表明しました。

会談後の記者会見で志位氏は「共闘の具体化に向けての土台、第一歩が確認されたのは大事な意義がある。市民と野党の共闘の再構築に力を尽くしたい」と主張しました。

記者から、共産党とは小選挙区で連携しないとした泉氏の過去の発言について問われ、志位氏は「きょう連携・力合わせをしていこうとなったわけですから、問題は解決されたのではないかと述べました。

会談には日本共産党の小池晃書記局長、穀田恵二国対委員長、立憲民主党の岡田克也幹事長、安住淳国対委員長が同席しました。

## **岸田首相 所信表明演説で「改憲条文案の具体化」に言及**

「経済、経済、経済」と連呼した岸田首相の所信表明演説。「変化の流れを絶対に逃さない、つかみ取る」などとしつつ、大軍拡や原発依存へのエネルギー政策の転換などで「結果を示してきた」と豪語。物価高などの課題を「先送りせず、必ず答えを出す」と語りましたが、実効性のある対策は何も語りませんでした。小沢一郎氏は、「私の頭に今あるもの、それは『変化の流れを絶対に逃さない、つかみ取る』の一点だ」。もはや全てが意味不明な総理の妄想。ポエムの他は中身ゼロの官僚の作文。この内容ではますます社会は壊れ、人口は減る。日本を滅ぼす岸田内閣を一日も早く終わらせる必要がある」と批判。また、岸田首相の「経済、経済、経済」発言について、「『経済ダメ、経済ダメ、経済ダメ』が正解。いま経済が一番ダメ。1ドル150円の円安→物価高→実質賃金下落。総理が続ける異次元緩和が原因。ダメな経済の元凶がもはや何を言っても無駄。総理は妄想ではなく現実を見るべき」とも批判しました。

そんな所信表明演説のなかでも、最低支持率に悩む岸田首相は、自民党の最大派閥の安倍派や、安倍氏を支持してきた保守層をつなぎとめようとする思惑がにじむような憲法改正に向けた所信表明を、「結び」で、次のように行いました。

#### 五 結び（憲法改正）

「あるべき国の形を示す」国家の基本法たる憲法の改正もまた、先送りのできない重要な課題です。先の国会では、衆・参両院の憲法審査会において、活発な御議論をいただきました。このような動きを歓迎します。

憲法改正は、最終的には、国民の皆様による御判断が必要です。国会の発議に向けた手続を進めるためにも、条文案の具体化など、これまで以上に積極的な議論が行われることを心から期待します。

このように「あるべき国の形を示す国家の基本法」と憲法を定義づけ、「先送りのできない重要な課題」と位置付けました。岸田氏は、憲法については安倍氏に寄り添う姿勢を示して来ました。安倍氏も「国のかたち、理想をの姿を語るもの」と定義づけ、「憲法は権力を縛るルール」とする立憲主義に反する発言を行い、批判されました。それにも関わらず、あえてか、安倍派と保守層の支持をつなぎとめるためか、取り込む狙いか、似た表現を使いました。

読売は、この報道の中で、「もっとも、党総裁の任期満了まで残された時間は少なく、改憲に向けたハードルは高い。首相は9月の内閣改造で、衆院憲法審査会の筆頭幹事として野党との調整を担当してきた新藤義孝と党筆頭幹事を経済再生相に起用した。派閥のバランスを考慮した閣僚起用と見られるが、党内には『改憲論議が停滞しかねない』と懸念する向きが多い」と指摘しました。

今週、衆参の憲法審査会の動きはありませんでしたが、各紙が新藤氏の後の与党筆頭幹事について、柴山氏か、中西氏かと報じています。ともあれ、衆院憲法審査会の紳士協定である「中山方式」を無視し、壊すような強引すぎる運営をしてきた新藤氏のような運営はやめていただきたいものです。

## 自民・世耕参院幹事長が岸田首相を批判

### 「何をやろうとしているのかまったく伝わらない」

参院本会議での代表質問が25日始まり、自民党の世耕参院幹事長は、岸田首相の決断力と発信力について、異例の苦言を呈しました。世耕氏は「残念ながら岸田首相の決断と言葉についてはいくばくかの弱さを感じざるを得ない」と述べ、今回の減税にまつわる一連の動きでその弱さが顕著に露呈したと指摘しました。

具体的には、9月25日に岸田首相が税込増の国民への還元を表明した際についてとりあげ「還元という言葉がわかりにくかった。自分で決断するのではなく検討を丸投げしたように国民に移った。総理のパッションが伝わらなかった」と苦言を呈しました。さらに世耕氏は「還元という言葉がひとり歩きして、給付なのか減税なのか様々な憶測を呼び、世の中に対しても総理が何をやろうとしているのか、全く伝わらなかった」と続け、生活困窮者への給付と所得減税で対応すると述べていたら、多くの国民も岸田首相の姿勢を理解してくれたはずだと指摘しました。

その上で、「今後重要な局面で発信される際には、総理ご自身がじっくりと考えて決断し、水面下の根回しも入念に行って、その発言により政権の政策の方向性を確定させ、なんとしてでも国民の支持を得るという覚悟で、政治家としての言葉で発信していただきたい」と異例の苦言を呈しました。

世耕氏は、岸田氏の支持率が低下する中で、また党の議論を経ずに所得減税を打ち出したことに不満が噴出しはじめ、岸田氏と一定の距離をとったようです。自民内からの厳しい批判が出始め、岸田政権はそう長くはないのではないのでしょうか。

# 22日の選挙結果

◆参院徳島・高知補選 衆院長崎4区補選 結果

参院徳島・高知 補選の結果	衆院長崎4区 補選の結果
当 広田 一 無元 23万3250票 西内 健 自新 142036 (投票率32・16%)	当 金子 容三 5万3915票 末次 精一 4万6899票 (投票率は42.19%)

◆宮城県議選 自民党6議席減らす 立民全員当選で1議席増やし、共産は議席数維持

任期満了にともなう宮城県議会議員選挙は、22日投票が行われ、村井知事の県政運営を支える自民・公明両党は過半数を維持できませんでした。しかし、今後、自民党の会派入りが見込まれる無所属の当選者を加えれば過半数の勢力を維持する見通しです。

▽自民党は24議席で選挙前と比べて6つ減。▽立憲民主党は10議席で全員が当選を決め、選挙前と比べて1増。▽共産党は5議席で選挙前と同じ。▽公明党は4議席で全員が当選を決め、選挙前と比べて1増。▽日本維新の会は2議席で宮城県議会で初めて議席を得た。▽無所属は1414議席でした。

◆所沢市長選 投開票の結果、無所属新人で元衆院議員の小野塚勝俊さん(51)が、4選を目指した無所属現職の藤本正人さん(61)＝自民、公明推薦＝と無所属新人で介護福祉士の杉田まどかさん(45)を破り、初当選しました。

当 小野塚勝俊 57272 藤本正人 41477 杉田まどか 12041

**冬の2023年 憲法講座**

大軍拡、憲法改憲を許さず、  
憲法を守り生かそう

岸田首相は、来年9月末までの自民党総任期中の改憲実現を訴え続けています。明文改憲、安保3文書の具体化の憲法破壊・大軍拡を許してはなりません。まさに、憲法をいかに、平和・民主主義・くらし・いのち・ジェンダー平等を守る政治・社会の実現に向け、「今、立ちあがる時」です。

**講師 渡辺 治**  
一橋大学名誉教授  
「今、立ちあがる時 岸田政権の軍拡に反対し、憲法改憲を阻止しよう!!」

日本共産党国会議員

2023年12月3日(日)  
午前9時半～12時

全労連会館 2階ホール  
〒113-0034東京都文京区湯島2-4-4  
TEL: 03-5542-0010  
【上】 1F: 中央会館 総務課 企画/水野から提供中  
【地下鉄】湯島駅1F(丸の内線) 駅南/水野から徒歩7分

1000円(学生500円)当日会場

憲法会議(憲法改憲阻止各界連絡会議)  
神奈川憲法会議/埼玉憲法会議/  
千葉県憲法会議/東京憲法会議

※当日YouTubeで配信します。  
YouTubeの検索URLは、憲法会議ホームページに掲載します。

平和と労働センター・全労連会館

参加申し込み 受け付け  
始めます。

申し込み、憲法会議まで  
電話 03-3261-9007  
FAX 03-3261-5453

※会場は200名まで入場できま  
すので、是非、会場で直接講演  
をお聞きください。

※同時配信は行いません。翌日  
に、録画とレジメ等の資料を憲  
法会議のホームページに掲載し  
ますので、ご視聴ください。